

現代詩  
講座

## 詩のピクニック

## 現代詩の名作をあじわう

むずかしいと言われている現代詩ですが、そこには私たちと共通の感性と思考が含まれています。

今年度は、親しみやすい現代詩を味わってみましょう。

また、永瀬清子の詩も毎回一作品紹介します。

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 講 師   | 行吉正一（元・東京都江戸東京博物館学芸員）<br>（順不同） |
|       | 10月～11月、2～3月                   |
|       | 北川久美子（高校非常勤講師）1月               |
|       | 井上直美（元・中学校教諭、岡山県詩人協会会員）12月     |
|       | 赤磐市教育委員会学芸員 8月                 |
| 日 時   | 毎月1回・原則第2金曜日 13時30分～15時30分     |
| 場 所   | 赤磐市立熊山公民館1階講座室                 |
| 対 象   | 一般（市内在住・在学・在勤）                 |
| 募集人数  | 20人（先着順）                       |
| 参 加 費 | 年額 1,000円（別途実費負担）              |

## 講座内容 2020年8月～2021年3月

## 8月21日（金）永瀬清子と名古屋

名古屋は、詩人・永瀬清子誕生の地です。詩を書き始めた頃の永瀬清子の魅力にせまります。

## 9月20日（日）公開講座の開催を予定しています。

詳細は、『広報あかいわ』8月号でお知らせします。

10月9日（金）オリエンテーション・高田敏子<sup>たかだとしこ</sup>（1914-1989）の詩をよむ。

女性の日常生活を、あたたかな感性でとらえた高田敏子の詩を読みます。

11月20日（金）黒田三郎<sup>くろださぶろう</sup>（1919-1980）の詩をよむ。

庶民の生活を平明な言葉で描きながらも、現代を鋭くとらえた黒田三郎の詩を読みます。

12月11日（金）宇宙のすべてを愛し慈しんだ人―宮沢賢治<sup>みやざわけんじ</sup>―

永瀬清子の琴線に触れた賢治の生き方を作品などを通してみていきます。

## 1月8日（金）源氏物語の和歌に親しむ

若紫巻以降の歌を読んでいます。

2月19日（金）吉野弘<sup>よしのひろし</sup>（1926-2014）の詩をよむ。

やさしい文体で、日常のなかの不条理ともいえる真実をとらえた吉野弘の詩を読みます。

3月12日（金）辻征夫<sup>つじゆきお</sup>（1939-2000）の詩をよむ。

さりげない日常にひそむ人間の生の真実を、ユーモアを含めて平易に表現した辻征夫の詩を読みます。